

九州支部（福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県）
 819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学 W1-A920 内 公益社団法人日本化学会 九州支部
 Tel/Fax: 092-802-4130 E-mail: qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp

注：社員としての活動に対しては，謝金や旅費・交通費のお支払いの対象とはなりませんのでご了承下さい。

平成 30 年度「代議員」立候補申込用紙

年 月 日

日本化学会 _____ 支部長 殿

氏名 _____ 印

私は，平成 30 年度「代議員」として立候補いたしますので，よろしくお願いいたします。

- ・候補者氏名 _____
- ・会員番号 _____
- ・会員種別 _____ ・所属先 _____
- ・連絡先住所 _____
- ・電話番号 _____ ・Fax _____
- ・E-mail address _____

—日本化学会秋季事業—第 7 回 CSJ 化学フェスタ 2017 各種募集のご案内

化学フェスタ実行委員会

2017 年 10 月 17 日(火)～19 日(木)，タワーホール船堀（東京都江戸川区）において“—日本化学会秋季事業—第 7 回 CSJ 化学フェスタ 2017”を開催します。日本化学会秋季事業として 2011 年にスタートした CSJ 化学フェスタも今年で第 7 回を迎え，「産学官の先端研究者と議論し交流できる場」，「最新の研究や技術開発動向を把握し議論できる場」として好評をいただき，また公開企画の参加者も年々増え，「産学官の交流深耕」と「化学の社会への発信」を目的とした日本化学会独自の特長あるイベントとして定着してまいりました。今回も前回以上の規模で，より魅力的な企画，驚きの企画，参加してよかったと思っただけの企画を準備しています。詳細は本誌 8 月号に掲載しますので，ご期待下さい。

本号では，1) 学生ポスターセッションの発表募集，2) 産学官 R&D 紹介企画の参加募集，3) 広告募集，4) 参加登録についてご案内します。

なお，CSJ 化学フェスタには多くの学生が参加しますが，就職を控えた学生と企業との情報交流に関しては，すべての企画において日本経済団体連合会の「採用選考に関する企業の倫理憲章」の精神を尊重し，その定めるところを厳格に遵守することを申し添えます。

記

会 期	2017 年 10 月 17 日(火)～19 日(木)		
会 場	タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀 4-1-1）		
実行委員長	加藤隆史（東大院工），廣瀬弘明（JNC）		
重要な日程	ポスター発表募集/予稿提出期間	6 月 1 日～6 月 30 日	詳細は本号
	参加予約期間	8 月 1 日～9 月 5 日	詳細は本号
	プログラム公開	8 月 1 日（予定）	

予稿集発行日 9月26日(予定)

問合せ先 日本化学会 企画部 白石/坂下
電話：03-3292-6163
E-mail: festa@chemistry.or.jp

ウェブサイト <http://www.csj.jp/festa/2017/>

本年度の留意点は次の通りです。

- ポスター発表募集/予稿提出期間が、例年よりも1ヵ月程度、早くなっておりますので予めご承知おき下さい。また、参加予約の開始日にWEBにてプログラムを公開予定です。是非、ご活用下さい。

学生ポスターセッション 募集要項

学生と産学官の先端研究者が議論し交流することを目的として、学生ポスターセッションを実施します。審査を希望する発表については、「発表者の研究への寄与」、「質疑応答」、「研究の独自性と発展可能性」などを基準に産業界とアカデミアの審査員が審査し、優秀な発表に対して「優秀ポスター発表賞」が授与されます。中でも最も優れた発表に贈られる「最優秀ポスター発表賞(CSJ化学フェスタ賞)」には副賞を贈呈するとともに、「化学と工業」誌(2018年1月号)へ受賞者コメントを掲載します。会場では同時に産学官R&D紹介企画の「R&D展示ブース」が開催され、企業研究者と交流することもできます。

1. 発表申込について

(ア) 申込期間

2017年6月1日～6月30日

※会場のスペースに限りがあるため予定件数に到達次第、受付を終了する場合があります。

(イ) 申込方法

本大会ウェブサイトの申込フォームからお申し込み下さい。フォームが使用できない場合にはお早めに事務局にご相談下さい。締切日以降は対応できませんのでご注意下さい。

(ウ) 申込完了の確認

発表申込が完了すると、講演1件ごとに発表受付番号とパスワードを発行します。また、申込内容を申込時に入力したE-mailアドレスに通知します。申込者は、発表受付番号が発行されていることと通知が来ていることを必ずご確認ください。通知未着の場合には、必ず事務局までE-mailにてお問い合わせ下さい。期限後のお問い合わせには対応できませんのでご注意下さい。

(エ) 採否の決定

申込発表の採否およびプログラム編成(発表分野、日時など)は、化学フェスタ実行委員会に一任とします(希望と異なる場合もあります)。

(オ) ポスター番号の通知

申込時に入力したE-mailアドレス宛に通知します。通知未着の場合には、事務局までお問い合わせ下さい。

(カ) 発表申込の取消

発表申込後に発表を取り消すと、プログラム編成に支障をきたします。必ず、発表申込内容に関して指導教員の確認を受けてからお申し込み下さい。理由の如何にかか

わらず、講演予稿原稿を提出した後の差し替え、取り下げは認められません。

(キ) 公知

予稿集をもって特許における公知日とされる方は、発行日以降権利が6ヵ月保留されることとなります。特許出願の際に必要な発表証明については、下記URLをご参照下さい。インターネットでの公開内容も研究内容の公知に当たります。

<http://www.chemistry.or.jp/application/certificate/research.html>

(ク) 著作権

予稿集に記載された内容に関する著作権は、日本化学会に帰属するものとします。したがって本会が必要と認めるときは転載し、また外部からの引用の申請があったときは本会において検討の上、許可することとします。

(ケ) ポスター発表賞

審査を希望するポスター発表に対して審査を行い、「最優秀ポスター発表賞(CSJ化学フェスタ賞)」、「優秀ポスター発表賞」を授与します。発表申込時に、「審査を希望する」にチェックして下さい。

2. ポスター発表について

(ア) 発表内容と発表者の条件

討論に重点を置くため、発表内容に既発表を含んでも構いません。発表者は学生に限り、発表件数は1人1件とします。

(イ) 発表形式と発表時間

ポスター発表のみとし、発表時間は60分です。ポスターボードのサイズは高さ180cm×幅120cmの予定です。

(ウ) ポスター登壇・参加登録費

発表には登壇料(下表)が必要です。登壇料にはCSJ化学フェスタ参加費およびプログラム集(1部)が含まれていますので、別途参加登録の必要はありません。

区分	登壇料
学生会員	5,000円(税込)
非会員学生	6,000円(税込)

申込締切後に、発表者連絡先へ請求書・振替用紙を送付します。必要事項を記入の上、期日までに登壇料をお支払い下さい。

(エ) 発表言語

日本語もしくは英語とします。

(オ) 発表者の変更

発表者の変更は必ず事務局へお知らせ下さい。変更の範囲はプログラムに記載の共著者に限ります。また、変更

になった時点でポスター発表賞の審査対象外となります。

3. 発表申込分類

ポスター発表の申込分類は以下のとおりです。

1. 物理化学
2. 無機化学・分析化学
3. 有機化学
4. 錯体・有機金属化学
5. 天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー
6. 高分子化学
7. 触媒化学
8. 材料化学

4. 予稿原稿

(ア) 提出期間

2017年6月1日～6月30日

※締切期日までに講演予稿原稿の提出がない場合は、講演を中止したものとしますのでご注意ください。

(イ) 作成方法・提出方法

本大会ウェブサイト上にあるテンプレートを利用して、予稿原稿をPDFファイルで作成して下さい。作成後、本大会ウェブサイト上の投稿フォームからご提出下さい。提出の際には、発表申込時に発行される受付番号、パスワードをお使い下さい。

産学官 R&D 紹介企画 募集要項

産学官 R&D 紹介企画では、「R&D 展示」、「R&D 講演」および「ランチョンセミナー」への参加を募集します。企画の趣旨は以下のとおりです。

- ① 企業や国研が学生に向けて「事業や研究開発の概要」、「研究成果・技術・製品」、「キャリアパス」等々の情報を紹介し、学生が進路を考える契機となる場を提供する。
- ② 企業（試薬、機器、受託等）、国研、大学が来場者に「技術や製品の PR」、「研究成果の発表」、「共同研究の提案」等々を行い、様々な連携や交流深耕の契機となる場を提供する。

本企画は回を重ねるごとに来場者も増え、年々注目度が増しています。今回は「ランチョンセミナー」の回数を増やし、来場者に PR できるチャンスが増えました。多くの学生と産学官の研究者が全国から集るこの機を逃さず、是非これらの企画にご参加下さい。なお、①における企業と学生の交流に際しては、日本経済団体連合会の「採用選考に関する企業の倫理憲章」を遵守します。また、②で企業が実施する展示や講演においては、営業活動にならないようご留意いただきます。

1. R&D 展示ブース

展示ブースを設置し、趣旨①あるいは②の内容で展示を行います。来場者は、学生ポスターセッションに参加する学生や産学官で研究開発に携わる方々です。展示に際しては、ポスターだけでなく、製品サンプルの展示、デモンストラーションや動画などもご活用いただけます。また、多くの来場者が予想されますため、数名の説明者での対応を

お勧めします。

(ア) 日時

2017年10月17日(火)～19日(木)

※10時～17時（1時間の休憩を含む）

(イ) 会場

展示ホール（1階）を予定

※学生ポスターセッションと同じ会場です。）

(ウ) 開催形態

展示ブース（H 210 cm×W 180 cm×D 60 cm）を設置

※展示時間は6時間/日ですが、説明者の常駐は必須ではありません。搬入・搬出は展示時間の前後1時間です。

(エ) 募集数

96小間（32小間/日×3日）

※複数小間、複数日の出展、および「R&D 講演」や「ランチョンセミナー」と併せた参加が効果的です。是非ご検討下さい。

(オ) 出展料

区分	出展料/1小間・1日
企業（法人会員）、国研、大学	80,000円（税別）
企業（法人会員以外）	120,000円（税別）

※展示ブース1小間・1日あたり説明者4名まで、「入場証」（産学官 R&D 紹介企画のみ入場可）を配布します。※申込み締切後に請求書を送付しますので、指定口座への振込にてお支払い下さい。

(カ) 設備

バックパネル2枚、机1本、社名板、画鋸を用意します。電源は会場付帯設備を利用するため、事前に申請して下さい。小間あたり PC1 台程度の利用を想定しています。

(キ) 小間割

希望日は指定できますが、申込順や会場の構成等を勘案して、化学フェスタ実行委員会で小間割を決定します。複数小間で出展の場合は小間をつなげて割当て、複数日数で出展の場合は同じ小間を割当てます。

(ク) 申込方法・申込締切日

「第7回 CSJ 化学フェスタ 2017」のウェブサイトよりお申し込み下さい。申込締切日：6月30日

2. R&D 講演

趣旨①あるいは②の内容で講演を行います。聴衆は学生および産学官で研究開発に携わる方々です。写真や動画を活用し、失敗・挫折・苦労のエピソードを盛り込むなど、「これがうちの面白いところ」、「この技術は世界でうちが一番」といったユニークな話や自慢話などバラエティに富んだ内容で参加機関の特徴をアピールして下さい。

(ア) 日時

2017年10月17日(火)・18日(水)

※各日の午後を予定

(イ) 会場

約80名収容の会場を予定

(ウ) 開催形態

30分/回の講演を予定

(エ) 募集数

16講演

※1機関で複数名の講演、日時を変えて複数回の講演、

および「R&D 展示」と併せた参加が効果的です。是非ご検討下さい。

(オ) 登壇料

区分	登壇料/1 講演
企業 (法人会員), 国研, 大学	40,000 円 (税別)
企業 (法人会員以外)	60,000 円 (税別)

※1 機関の登壇者 2 名までは, CSJ 化学フェスタ参加費が無料です。

※申込み締切後に請求書を送付しますので, 指定口座への振込にてお支払い下さい

(カ) プログラム

希望日時は指定できますが, 最終的には化学フェスタ実行委員会にご一任下さい。

(キ) 講演機材

会場にはプロジェクター・スクリーン・レーザーポインタ・マイク・RGB ケーブルを用意します。PC は講演者自身で用意して下さい。

(ク) 申込方法・申込締切日

「第 7 回 CSJ 化学フェスタ 2017」のウェブサイトよりお申し込み下さい。申込締切日: 6 月 30 日

3. ランチョンセミナー

趣旨①あるいは②の内容で, 昼食付の講演を行います。参加機関名を冠した「〇〇ランチョンセミナー」としてプログラムやウェブサイトに掲載, 周知するとともに, 事前に入場整理券を配布して集客を確保します。講演内容は「R&D 講演」と同様で, 時間内の構成は参加機関で自由に設定できます。

(ア) 日時

2017 年 10 月 17 日(火)~19 日(木)

※12 時~13 時

(イ) 会場

約 80 名収容の会場を予定

※応募状況により会場を増やす可能性もあります。

(ウ) 開催形態

時間内の構成は参加機関で自由に設定

※講演の前後に入退場や片付けの時間を確保して下さい。

※弁当手配, 入場整理券配布, 入場受付, 弁当配布, 片付けは事務局で対応します。

※座長は参加機関で対応していただきます。

(エ) 募集数

3 件 (1 件/1 日) を予定

※応募状況により増える可能性もあります。

※「R&D 展示」と併せた参加が効果的です。是非ご検討下さい。

(オ) 参加料

区分	参加料/1 件
企業 (法人会員), 国研, 大学	300,000 円 (税別)
企業 (法人会員以外)	450,000 円 (税別)

※弁当金は参加料に含まれます。

※登壇者 2 名までは, CSJ 化学フェスタ参加費が無料です。

※申込み締切後に請求書を送付しますので, 指定口座へ

の振込にてお支払い下さい。

(カ) プログラム

希望日は指定できますが, 最終的には化学フェスタ実行委員会にご一任下さい。

(キ) 講演機材

会場にはプロジェクター, スクリーン, レーザーポインタ, マイク, RGB ケーブルを用意します。PC は講演者自身で用意して下さい。

(ク) 申込方法・申込締切日

「第 7 回 CSJ 化学フェスタ 2017」のウェブサイトよりお申し込み下さい。申込締切日: 6 月 30 日

なお, 申込締切後およびプログラム公開後の出展者都合によるキャンセルにつきましてはご返金ができません。ご了承下さい。

広告掲載募集要項

参加者へ配布されるプログラム集への広告を募集します。約 3,000 人の産官学の研究者が参集しますので, 大きな PR 効果が期待できます。是非とも各機関 (企業, 大学, 国研, 等々) からの広告掲載を賜りたくお願い申し上げます。

(ア) 掲載場所・掲載料金

掲載場所	掲載料金
表紙 2 カラー	150,000 円 (税別)
表紙 3 カラー	120,000 円 (税別)
表紙 4 カラー	200,000 円 (税別)
前付けカラー	100,000 円 (税別)

サイズは天地 260 mm × 左右 180 mm, 入稿形態は完全データ (出力見本添付) とします。

(イ) 申込・原稿データ締切日

申込 8 月 16 日

原稿 8 月 25 日

(ウ) 申込・問合せ先

株式会社明報社 後藤

電話 (03) 3546-1337 E-mail: info@meihosha.co.jp

株式会社スプラウト 分須

電話 (03) 4500-9500 E-mail: info@sprout.jp

参加登録のご案内

CSJ 化学フェスタで実施する企画へ参加される方には, 参加登録費の有料/無料に関わらず参加登録をお願いしています。ウェブサイトよりお申し込み下さい。当日登録も可能ですが, 現地での混雑を避けるためできる限り事前登録をお願いします。

なお, 学生ポスターの発表者の方は別途登壇料をお支払いいただいているので, 参加登録手続きの必要はありません。

日本化学会の責によらない天変地異や交通機関の乱れ, 事件・事故等によりやむを得ず開催が中止された場合で

も、予稿集の発行をもって開催されたものとみなし、参加登録費・ポスター登壇料を返還できない場合があります。あらかじめご承知おき下さい。

1. フェスタ企画へ参加の方

1. 事前登録期間

8月1日～9月5日

※参加費のお支払い期限：9月5日 受領印有効

2. 申込方法

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。

3. 加登録費

フェスタ企画の参加登録費は以下のとおりです。いずれもプログラム集が含まれます。

会員区分	事前登録	当日登録
正会員 ^{*1}	15,000円(税込)	18,000円(税込)
非会員	27,000円(税込)	30,000円(税込)
学生会員	4,000円(税込)	5,000円(税込)
非会員学生	5,000円(税込)	6,000円(税込)

*1…個人正会員・教育会員・シニア会員・法人正会員
企業に所属する方が対象です。

4. お支払い方法

銀行振込または郵便振替でのいずれかをお願いします。詳細は申込受理通知メールをご参照下さい。支払期限を過ぎてご入金を確認できない場合、事前登録は無効となります。会期当日に現地でご当日登録手続きを行って下さい。

5. 領収書の発行

参加証等を事前送付する際に同封します。

6. 参加証等の送付

振込期限までにご入金を確認できた方に対して、予稿集発行日以降に参加証等を送付します。なお、プログラム集の受け取りは事前配布と現地受け取りのいずれかを選択できます。

7. 予稿集 (Web)

期日までに入金を確認できた方には、パスワードを発行します。予稿集 (Web) をご覧いただく際にご活用下さい。

2. 公開企画へ参加の方

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。登録完了後に受理通知メールが届きます。受理通知メールが参加証を兼ねますので、出力の上、当日受付にてご提出下さい。

第 97 春季年会(2017) 「学生講演賞」および「優秀講演賞(学術)」の表彰

第 97 春季年会実行委員会委員長 鈴木 孝治
学術研究活性化委員会委員長 渡辺 芳人

本会では若手研究者が各自の研究をまとめた形で発表することによって、その研究のより一層の進展と活性化をはかることを目的として、第 83 春季年会(2003)から、従来の講演「A 講演」(講演 7 分、討論 3 分)に加え、「B 講演」(講演 15 分、討論 5 分)を設けております。B 講演の発表資格は「正会員または大学院博士(後期)課程に在籍する学生会員」で、このうち優れた研究発表には「学生講演賞」を贈呈していますが、さらに第 86 春季年会(2006)から新たに受賞年の 4 月 1 日時点で満 36 歳に達していない審査希望者に「優秀講演賞(学術)」を授与し本会会長名で表彰することに致しました。

「学生講演賞」ならびに「優秀講演賞(学術)」は発表内容、プレゼンテーション、質疑応答などにおいて優れた講演で、講演者の今後の一層の研究活動発展の可能性を有すると期待されるものに対して贈呈するものです。

今年度の第 97 春季年会は去る 3 月 16 日から 19 日までの 4 日間、慶應義塾大学日吉キャンパスで開催され、「学生講演賞」は対象の B 講演 264 件の中から 79 件が、「優秀講演賞(学術)」は対象の B 講演 174 件の中から 34 件が、それぞれ選考されました。選考は次のようにして行いました。

①当該部門のプログラム部門長または編成委員、②プログラム編成委員より推薦された正会員、③講演座長、の 3 名が該当講演を聴講し、採点表をもとに審査しました。その結果をもとに第 97 春季年会実行委員会から選出された若干名と実行委員長により選出された委員で構成された選考委員会で選考し、第 97 春季年会実行委員会(平成 29 年 3 月 30 日開催)で決定しました。

今年度の受賞者は以下の通りです。これらの受賞者にはその栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待いたしまして山本 尚(平成 28 年度会長)名の表彰状を「学生講演賞」の場合は受賞者の所属機関長を経由し、また、「優秀講演賞(学術)」の場合はご本人に直接お届けいたしました。

「日本化学会第 97 春季年会(2017)学生講演賞」受賞者一覧

【物理化学関係】

(物理化学, 分析化学, コロイド・界面化学,
理論化学・情報化学・計算化学, 有機結晶)

1A7-32 Theoretical study on the electronic structures and stability of metal encapsulated C₈₀ fullerenes (首都大院理工) VELLOTH Archana 氏

1B5-33 Designing of Magnetic-Plasmonic Ternary Metallic Nanoparticles (北陸先端大マテリアル) MOHAN Priyank 氏

1B6-39 イオン性ナノシート間に働く静電反発力を利用した異方的なソフトマテリアル(1): 動的フォトニック構造体と時空間パターン形成(東大院工) 佐野航季 氏